

＜年間指導計画＞

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学 期	・ 見えないだけ	・ 朗読の工夫、言葉や表現が生み出す効果の理解。	○		○
	・ アイスプラネット	・ 文学的文章の特徴把握、全体と部分の関係の解釈、人物の設定と心情の変化の理解。	○	◎	
	・ 問いを立てながら聞く	・ 意見と根拠、具体と抽象、メモの取り方の基礎。	○	◎	
	・ 季節のしおり 春	・ 春の行事・暦・景色の詩歌鑑賞、言語文化理解。	◎		○
	・ 枕草子	・ 古典の魅力、作者の感性、内容解釈、暗唱、現代版枕草子、グループ活動。	○	◎	○
	・ 情報整理レッスン 思考 の視覚化	・ 情報整理と視覚的表現方法の理解、練習問題。	○		○
	・ 情報集め 職業ガイド	・ 多様な情報収集の考察、情報整理、紙面構成の工夫、感想交換。	○	◎	
	・ 漢字 熟語の構成	・ 熟語の構成の理解、身の回りの熟語、練習問題。	◎		○
	・ クマゼミ増加の原因	・ 構成と展開、文章と図表の関係、グループ話し合い。	○	◎	
	・ 思考レッスン具体抽象	・ 具体と抽象の概念理解と確認、練習問題。	◎		○
	・ プレゼンテーション	・ 情報収集、効果的な話の展開の工夫、発表。	○	◎	
	・ 漢字に親しむ	・ 新出漢字練習、国語辞典、学習課題。	○		○
	・ 文法 単語を分ける	・ 活用、助詞助動詞、自立語の品詞の特性理解。	◎		○
	・ メディアを比べよう	・ メディアの比較と特徴、情報の留意点理解。	○	◎	○
	・ 短歌に親しむ	・ 短歌の朗読、特徴、内容と表現の解釈、鑑賞文。	○	◎	
	・ 言葉の力	・ 言葉が持つ価値の認識、文章要約、話し合い。	◎	○	
	・ 類義語 対義語 多義語	・ 語句の理解と使用、語感の違いの把握。	○		○
	・ 言葉を比べよう	・ 具体的、抽象的概念の語句の分類、国語辞典。	◎		○
	・ 読書を楽しむ	・ 本の紹介合戦、グループ活動、図書館利用。	○	◎	○
	・ 季節のしおり 夏	・ 夏の行事、暦、情景の詩歌の鑑賞、言語文化理解。	○	◎	
	・ 書写 行書	・ 行書の点画の省略の理解、読みやすく速く書く、部分を学び他の文字に生かして書く。	○	○	○
2 学 期	・ 盆土産	・ 作品構成と登場人物の言動の理解、心情の把握。	○	◎	
	・ 字のない葉書	・ 思い出の整理、時代状況、人柄と心情、表現の工夫の理解、身近な人への手紙。	○	◎	○
	・ 質問で考えを引き出す	・ テーマに沿ったインタビュー、質問の内容や仕方の工夫、役割交代による理解。	○	◎	○
	・ 表現工夫 手紙メール	・ 手紙とメールの特徴比較と活用場面、伝わる通信文、表現効果の理解。	◎	○	○
	・ 表現効果 推敲	・ 適切な文字や表現へ書き改め、効果的表現の工夫。	○	◎	
	・ 言葉2 敬語	・ 敬語の働きや種類の理解、練習問題。	○		○
	・ 漢字 同じ音 同じ訓	・ 同音異義語の使い分けの理解、国語辞典使用。	◎		
	・ モアイは語る地球の未来	・ 文章の構成理解、論理の展開の吟味、説明的文章の読み方解釈、意見文交流。	○	◎	○
	・ 思考レッスン 根拠 根拠の適切 意見文	・ 意見と根拠、具体と抽象、情報の関係の理解。根拠を吟味する観点の理解。 ・ 課題決めと分析、課題の長所と短所のまとめ、意見を支える根拠の吟味、意見文交流。	◎		
	・ 漢字に親しむ	・ 新出漢字練習問題。	◎		
	・ 討論 異なる立場	・ 例文の事実の把握、一つの情報が賛成反対どちらの根拠にもなることの理解。	○	○	
	・ 討論で多角的に検討	・ テーマ決めと情報集め、立場決めと意見、根拠の検討と工夫、グループ討論。	○	◎	○
	・ 音読 月夜の浜辺	・ リズムの反復表現、言葉の響きの味わい、情景や心情を想像した朗読。	○	○	○
	・ 季節のしおり 秋	・ 秋の情景の詩歌鑑賞、伝統的言語文化の理解。	◎		

2 学 期	・源氏と平家 音読 ・扇的 平家物語 ・仁和寺にある法師 ・徒然草 ・漢詩の風景 ・君は最後の晩餐を知っているか ・鑑賞文を書く ・漢字に親しむ ・文法 活用 ・研究の現場へようこそ ・季節のしおり 冬 ・書写 毛筆書き初め	・作品の概要と文章の特徴把握、冒頭部分音読暗唱。 ・古典独特の調子や響きへの気づき、作品の特徴を生かした朗読、内容解釈、言動から心情を理解。 ・係り結びと歴史的仮名遣い理解、冒頭音読と暗唱。 ・作品の概要、作者のものの見方の理解、意見交流。 ・漢詩の特徴と基礎確認、3編の詩の季節、情景、心情の理解。 ・感想交流、内容理解、文章構成の工夫と特徴の把握。 ・作文鑑賞と魅力の表現、表現効果の工夫、鑑賞文相互評価と発表。 ・新出漢字練習問題。 ・活用の意味や用語、用言の活用の理解、練習問題。 ・自分の知識や経験と結びつけて読む、感想交流。 ・冬の暦や言葉、詩歌の鑑賞、伝統的言語文化理解。 ・書き初め作品練習。	◎	◎	○
3 学 期	・走れメロス ・漢字に親しむ ・文法一字違いで大違い 付属語 ・構成や展開の工夫 物語を書く ・話し言葉と書き言葉 ・漢字3 送り仮名 ・テーマを決めて話し合い ・木 ・学習を振り返る ・書写硬筆行書名文を書く	・作者作品調べと発表、場面展開と人物像把握、心情の変化、作品の魅力を交流、続きの文章を書く。 ・新出漢字の確認、練習問題。 ・付属語の種類と働きの理解、練習問題。 ・題材と物語の設定とあらすじ決め、構成の工夫、発表と交流。 ・例文理解、話し言葉と書き言葉の特徴把握。音声と話し言葉、文字と書き言葉を捉える。 ・送り仮名の付け方の原則、活用語尾や特徴の理解、練習問題。 ・グループ話し合い、テーマ決め、情報収集、仕事分担と原稿作成、感想伝え合い。 ・詩の朗読、表現の意味の解釈、表現技巧の効果、作者のものの見方考え方について話し合い。 ・小説を読み比較検討、卒業生に贈る言葉の話し合い、メール文の推敲。 ・名文や都道府県名の行書練習。	○	◎	○

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使用している。
30～40%	30～40%	30～40%

<令和4年度に関する特記事項>

- ・単元によって評価の割合は異なる。

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	【地理的分野】 身近な地域の調査 日本の地域的特色 日本の諸地域	・地形図の使い方 ・日本の地形、気候、自然災害、人口、資源・エネルギーと電力 ・日本の農業・林業・漁業とその変化 ・日本の工業とその変化 ・日本の商業・サービス業、交通網・通信網 ・九州地方―自然環境に注目して― ・中国・四国地方―交通や通信に注目して―	◎	◎	◎
2 学期	【歴史的分野】 近世（武家政権の展開と世界の動き） 近代前半（近代国家の歩みと国際社会）	・近畿地方―環境保全に注目して― ・中部地方―産業に注目して― ・関東地方―人口や都市・村落に注目して― ・東北地方―生活・文化に注目して― ・北海道地方―自然環境に注目して― ・幕藩体制の始まり（江戸幕府の成立） ・四つに絞られた貿易の窓口（「鎖国」） ・天下泰平の世の中（身分制の下での暮らし、元禄文化） ・社会の変化と幕府の対策（繰り返される要求と改革、化政文化） ・欧米諸国における「近代化」（市民革命、産業革命と資本主義の成立、世界進出を目指す欧米諸国） ・開国と幕府の終わり（黒船来航の衝撃と開国、江戸幕府の滅亡） ・明治政府による「近代化」の始まり（明治維新） ・近代国家への歩み（自由民権運動、大日本帝国憲法の制定）	◎	◎	◎
3 学期		・帝国主義と日本（条約改正、日清戦争、日露戦争、韓国併合） ・アジアの強国の光と影	◎	◎	◎

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【地理的分野】 ・日本の地域的特色、日本各地の人々の生活、産業について理解し、その知識を身につけている。 ・様々な資料から、日本の地域的特色、日本各地の人々の生活、産業についての情報を適切に読み取っている。 ・読み取った情報を、図版や文章などに適切にまとめている。 ・景観写真、グラフ、表の読み取り方を習得している。 【歴史的分野】 ・近世、近代の日本や世界の様子について理解し、その知識を身につけている。 ・近世、近代の日本や世界に关するさまざまな資料を集め、有用な情報を適切に読み取り、図や表にまとめている。	【地理的分野】 ・日本の地域的特色、日本各地の人々の生活、産業について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【歴史的分野】 ・近世、近代の日本や世界について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	【地理的分野】 ・日本の地域的特色、日本各地の人々の生活、産業などを通じて、社会的な事象に関心を高め、意欲的に追及している。 【歴史的分野】 ・近世・近代の日本・世界を通じて各時代の特徴に関心をもち、歴史を意欲的に学ぼうとしている。
35%	35%	30%

<令和4年度に関する特記事項>

- ・ワークシートを利用し、班での話し合いで情報の意見交換と共有、深め合う活動を取り入れる。
- ・問題集などを利用し家庭学習を習慣化する。
- ・小テストを実施し基礎の定着を図る。
- ・ICTを活用し、興味関心をもたせる。

＜年間指導計画＞

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学 期	1. 式の計算	・多項式の計算, 単項式の乗法と除法	◎	◎	◎
	・式の計算	・式による説明, 等式の変形	◎	◎	◎
	2. 連立方程式	・連立方程式とその解, 連立方程式の解き方, いろいろな連立方程式	◎	◎	◎
	・連立方程式とその解き方	・連立方程式の利用	◎	◎	◎
2 学 期	3. 1次関数	・1次関数の意味, 式	◎	◎	◎
	・1次関数				
	・1次関数の性質と調べ方	・1次関数の値の変化, 1次関数のグラフ, 1次関数の式を求める方法	◎	◎	◎
	・2元1次方程式と1次関数	・2元1次方程式のグラフ, 連立方程式とグラフ	◎	◎	◎
3 学 期	・1次関数の利用	・1次関数とみなすこと, 1次関数のグラフの利用, 1次関数と図形	◎	◎	◎
	4. 平行と合同	・数量の間の関係の表し方(等式, 不等式)	◎	◎	◎
	・説明のしくみ	・多角形の角の和の説明	◎	◎	◎
	・平行線と角	・平行線と角(平行線の性質, 対頂角, 同位角, 錯角, 三角形の内角と外角の性質)	◎	◎	◎
4 学 期	・合同な図形	・合同な図形の性質と表し方, 三角形の合同条件, 証明のすすめ方	◎	◎	◎
	5. 三角形と四角形	・二等辺三角形の性質, 二等辺三角形になるための条件, 直角三角形の合同	◎	◎	◎
	・三角形				
	・平行四辺形	・平行四辺形の性質, 平行四辺形になるための条件, 特別な平行四辺形, 平行線と面積	◎	◎	◎
5 学 期	6. 確率	・同様に確からしいこと, いろいろな確率	◎	◎	◎
	・確率	・確率による説明	◎	◎	◎
	・確率による説明	・体積, 表面積, 球の体積と表面積	◎	◎	◎
	7. データの比較	・四分位範囲と箱ひげ図	◎	◎	◎
6 学 期	・四分位範囲と箱ひげ図				

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
40％程度	30％程度	30％程度

<令和4年度に関する特記事項>

- ・学習する単位によって観点ごとの評価の割合に変化がある。
- ・少人数教室など、授業を受ける教室に入る前と授業終了後には、必ず手洗い、消毒をする。

令和4年度 第二学年 理科年間指導計画・評価

豊島区立西池袋中学校

<年間指導計画>

理科Ⅰ

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1学期	一学年 単元4 2章 地震	① 地面の揺れの伝わり方と揺れ方の規則性 ② 地震の災害 ③ 探究活動	◎ ○ ○	◎ ○ ◎	○ ◎ ◎
	単元1 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち	① 熱分解 ② 電気分解 ③ 物質をつくっているもの 原子・分子・原子の記号・周期表 ④ 化学反応式	◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ◎	○ ○ ○ ○
	2章 いろいろな化学変化	① 酸素と結びつく化学変化－酸化 ② 酸素を失う化学変化－還元 ③ 硫黄と結びつく化学変化	◎ ◎ ◎	○ ○ ○	○ ○ ○
	3章 化学変化と熱の出入り	発熱反応と吸熱反応	◎	○	○
	4章 化学変化と物質の質量	① 質量保存の法則 ② 反応する物質の質量の割合	◎ ○	◎ ◎	○ ○
2学期	探求活動	課題解決	◎	◎	○
	単元3 電流とその利用 1章 電流と回路	① 回路の電流 直列と並列の違い・電流計の使い方 ② 回路の電圧 直列と並列の違い・電圧計の使い方 ③ 回路の抵抗 オームの法則 ④ 電流とそのエネルギー 電力・発熱量・熱量について	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○ ○
	2章 電流と磁界	① 電流がつくる磁界 ② 電流が磁界から受ける力 ③ 電磁誘導と発電 i 電磁誘導 ii 直流・交流	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○
3学期	3章 電流の正体	① 静電気と力 ② 静電気と放電 ③ 電流と電子 ④ 放射線とその利用	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ○ ◎	○ ○ ○ ○
	探求活動	課題解決	◎	◎	○

理科Ⅱ

学期	単元名	主な学習活動	評価		
	単元2 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物をつくる細胞	① 生物の体をつくっているもの ② 細胞と生物の体	◎ ◎	○ ○	○ ○

1 学 期		② 葉のつくり 維管束 ③ 茎・根のつくりとはたらき ④ 葉・茎・根のつながり	◎ ◎ ◎	○ ○ ○	○ ○ ○
2 学 期	3 章 動物の体のつくりとはたらき	① 消化と吸収 消化管・消化器官・消化液について ② 呼吸 肺のはたらきについて ③ 血液とその循環 肺循環と体循環・血液の成分 ④ 動物の行動のしくみ 運動器官・感覚器官・神経系 ⑤ 生物の体のつくりとはたらき	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	探求活動	課題解決	◎	◎	○
	単元 4 気象のしくみと天気の変化 1 章 気象観測	① 気象と私たちの生活 ② 身近な場所の気象 気象観測・気象観測の方法	◎ ◎	○ ◎	○ ○
	2 章 気圧と風	① 気圧とは何か ② 気圧配置と風	◎ ◎	○ ◎	○ ○
	3 章 天気の変化	① 空気中の水蒸気の変化 i 露点・飽和水蒸気量・湿度 ii 雲や雨の作り方 ② 前線と天気の変化 温暖前線・寒冷前線などの前線付近の 天気の変化	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ○ ◎	○ ○ ○ ○
3 学 期	4 章 日本の気象	① 日本の気象の特徴 ② 日本の四季 ③ 自然の恵みと気象災害	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ◎
	探求活動	課題解決	◎	◎	○

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
30～40%程度	30～40%程度	30～40%程度

<令和4年度に関する特記事項>

- ・1学期当初に1年次の積み残しである「地震」に関する学習事項が入る。
- ・週4時間を2時間ずつ「理科Ⅰ」・「理科Ⅱ」として授業を行う。
- ・学習する単元によって観点ごとの評価の割合に変化がある。
- ・ソーシャルディスタンスの観点から、対人での実験や観察の実施や密となる単元については実施の方法を工夫する。

＜年間指導計画＞

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	・U1 Hajin's Diary	・動詞の過去形、過去進行形、接続詞 when の文について正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
	・動詞の過去形／過去進行形	・登場人物のある日の出来事を知るために、その人物の日記から出来事や感想を読み取り、出来事や感想を整理して、わかりやすく日記を書く。	◎	◎	◎
	・U2 Basketball Tournament	・一般動詞や be 動詞の過去形、過去進行形の使用場面、意味、文の形を正確に理解する。	○		
	・動名詞／不定詞（名詞的用法）	・動名詞、不定詞の名詞的用法、I think (that) ～. について正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
	・電話	・クラスの友達と互いに分かり合うために、好きなことやしたいことなどについて、必要な情報を正確に聞き取り、さらにその場で適切にたずね合う。	◎	◎	◎
	・U3 Plans for the Summer	・動名詞や不定詞の名詞的用法の使用場面、意味、文の形を正確に理解する。	○		
	・be going to／will	・Can you ～? という言い方や電話特有の表現について正確に理解し、電話で何かを頼んだり応じたりするやり取りをする。	○	○	○
	・アナウンス	・be going to, 助動詞 will, 接続詞 if の文について正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
	・Let's Read 1 Sukh's White Horse	・登場人物の考えを知るために、メールからその人物の予定や希望などの必要な情報を読み取り、予定や希望を伝えるために、適切な形式や表現を用い、気持ちを付け加えるなどの工夫をしてメールを書く。	◎	◎	◎
	・いろいろな単位	・be going to や will の使用場面、意味、文の形を正確に理解する。	○		
2 学期	・レストラン	・空港や機内のアナウンスから、時刻や場所などの情報を聞き取る。	◎	◎	◎
	・U4 Tour in New York City	・物語のあらすじを理解するために、時を表す語句や人物の行動に注意して読み、出来事の経過を捉える。	○	○	○
	・道案内	・数の言い方を正確に理解し、会話から気温・長さ・液量・値段を正確に聞き取った上で、自分の予想を確かめるのに必要な情報を聞き取り、適切に理解する。	◎	◎	◎
	・目的語	・交換留学生の自己紹介文から、趣味や好きなこと、したいことなどの内容を読み取り、交換留学生が楽しめる観光プランを理由などを整理して発表している。	○		
	・U5 Earthquake Drill	・Shall I ～? や Would you like ～? や Will you ～? という言い方について正確に理解し、飲食店で注文したり何かを依頼したりするやり取りをする。	○	○	○
	・イベントのお知らせ	・There is ～. や <S+V+O+O>, 不定詞の形容詞的用法について正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
	・体調不良	・セントラルパークについて、ガイドブックから施設などの必要な情報を読み取り、適切に理解し、先生の興味・関心に合うように情報を整理し、まとまりのある観光プランを発表する。	◎	◎	◎
		・Could you ～? や how で始まる疑問文の構文について正確に理解し、道案内のやり取りをすることができる。	○	○	○
		・<S+V+O>と<S+V+O+O>の文の形を正確に理解する。	○		
		・have to ～や助動詞 must, should を使った言い方について正確に理解し、活用する。	◎	◎	◎
		・防災バッグに入れるべきものについて知るために、品物の説明から必要な情報を聞き取り、何を入れるかを、自分の考えやその理由、友達の考えを聞いて思ったことを伝えながらグループで話し合う。	◎	◎	◎
		・条件文から自分の予定や希望を読み取り、複数の掲示物からイベントの日時や内容を読み取り、条件に合うイベントを選ぶ。	○	○	○
		・You look ～. や症状を言うときの表現、助動詞 should を使った言い方について正確に理解し、体調に関するやり取りをする。	○	○	○

2 学 期	・助動詞 ・U6 Work Experience	・既習の助動詞の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。 ・不定詞の副詞的用法や接続詞 because の構文について正確に理解し、活用する。 ・登場人物の職場体験の様子を知るために、レポートからその人物が体験したことや感想などのおおまかな内容を読み取り、自分が体験したことや感想を、まとまりのある文章でレポートに書いている。 ・不定詞の形容詞的用法と副詞的用法の使用場面、意味、文の形を正確に理解する。 ・既習の接続詞の使用場面、意味、文の形を正確に理解する。 ・インタビュー記事を読んで内容を理解したり、インタビュー記事の概要を捉えたりでき、音読することができる。 ・説明文から、人物の行動や考え、出来事か、因果関係などを読み取り、写真の順序に合う文章にするために、文章の流れを捉える。 ・職業についてのコメントから、職業の楽しさや大変さ、それぞれの職業の必要な情報を読み取り、自分や相手に合う職業を診断するために、適切に相手の質問に答えたり、相手の答えに応じて質問する。	○		
	・不定詞（形容詞的用法・副詞的用法） ・接続詞 ・Let's Read 2 - Meet Hanyu Yuzuru ・世界を舞台に働く人		◎	◎	◎
	・職業診断のチャートを作ろう		◎	◎	◎
			○		
			○		
			◎	◎	◎
3 学 期	・U7 Amazing Australia	・形容詞の比較級、最上級、as ～ as の構文について正確に理解し、活用する。 ・オーストラリアの名所とその特色を知るために、観光紹介の記事から必要な情報を読み取り、それを参考に自分の町の名所や名物などを紹介するために、特徴が伝わる、まとまりのある文章を書く。 ・観光地の音声案内から、説明されている観光地にあるものやその特徴などの情報を聞き取り、いくつかの県の観光案内情報から、説明されている観光地にあるものやその特徴などの情報を読み取る。 ・形容詞や副詞の比較級、最上級、同等比較の使用場面、意味、文の形を正確に理解する。	◎	◎	◎
	・観光案内		◎	◎	◎
	・比較表現		○	○	○
	・U8 Staging a Musical	・受け身、〈S+V+O+C〉、〈want+人+不定詞〉の構文について正確に理解し、活用する。 ・学級新聞の記事から作品紹介のおおまかな内容を読み取り、友達に自分のお気に入り作品のよさが伝わるように、作者やおおまかな内容などの構成を考え発表する。 ・受け身の文の使用場面、意味、文の形を正確に理解している。 ・音声ガイドから、作者などについての説明を聞き取る。 ・説明文から、絵文字が世界に広まった経緯や使い方の違い、筆者の意見などを読み取り、身近なコミュニケーションツールである絵文字について考えを深める。 ・世界遺産の紹介から、場所や特色、数字などを聞き取る。 ・インタビューから、旅行者が話題にしているものの特徴や用途などの内容を聞き取り、さらに話す。 ・選んだもののおもしろさを伝えるために、紹介するものの特徴や用途、おもしろいと思うポイントを整理してクイズを出している。	○	◎	◎
	・受け身の文 ・音声ガイド ・Let's Read 3 Emojis		◎	◎	◎
	・世界遺産めぐり ・日本のおもしろいものを紹介しよう		○	○	○
			○		
			○		
			◎	◎	◎
			○	○	○
			○		
			○		

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・英語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて必要な知識、技能を身に付けている。 ・英語の学習を通して、文の構造や語句など、言語の働きや役割などを理解している。	・具体的で身近な話題について、互いの考えや気持ちなどを英語で適切に伝えあっている。 ・聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	・他者を尊重しながら、主体的に英語を用いて、自分の意見や考えを話したり書いたりして表現しようとしている。 ・知識や技能を獲得し、思考力・判断力・表現力を身に付けるために、粘り強く取り組んでいる。 ・獲得した知識や技能を、場面に応じて活用し、授業に取り組んでいる。
40％程度	30％程度	30％程度

<令和4年度に関する特記事項>

- ・学習する単位によって観点ごとの評価の割合に変化がある。
- ・感染症予防の観点から、対人でのスピーキングの指導等、指導の方法を工夫する。

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	オーケストラの響き	・ 楽器について ・ 鑑賞（「交響曲 第5番 ハ短調」他）	◎	◎	◎
	歌詞と旋律が生み出す雰囲気 を味わいながら	・ 歌唱（「夢の世界を」「夏の思い出」他）	◎	◎	○
2 学期	旋律の動きを理解して、 曲想を味わおう	・ 歌唱（「時の旅人」他） ・ 鑑賞（「フーガ ト短調」）	◎ ◎	○ ◎	○ ○
	創作をしよう	・ リズム創作	◎	○	◎
	日本の伝統芸能の特徴を 理解して、その魅力を味 わおう	・ 器楽（三味線） ・ 鑑賞（「歌舞伎」）	◎ ◎	◎ ◎	◎ ○
3 学期	日本の伝統芸能の特徴を 理解して、その魅力を味 わおう	・ 鑑賞（「文楽」）	◎	◎	○
	曲想の変化を生かして表 現豊かに合唱しよう	・ 歌唱（「大地讃頌」）	◎	○	◎

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけている。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいこうとする。
34％程度	33％程度	33％程度

<令和4年度に関する特記事項>

- ・ 学習する単元によって観点ごとの評価の割合に変化がある。
- ・ 感染症予防の観点から、歌唱指導等、実施の方法を工夫する。

＜年間指導計画＞

学期	題材名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	「きりえ」 ・白と黒で表現する	・切りえの制作	◎	◎	○
2 学期	「デザイン」 ・伝統文化に学ぶ	・伝統文化を取り入れたデザイン作品の制作	◎	◎	○
3 学期	「木彫」 ・鏡額	・浮き彫りを取り入れたデザインを彫刻する	◎	◎	○
	「鑑賞」 ・表現の美をあじわう	・作品鑑賞		◎	○

＜評価の観点と割合＞

題材により、以下のように観点ごとに割合を変化させて評定を算出する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
30～40％程度	30～40％程度	30～40％程度

＜令和4年度に関する特記事項＞

- ・感染症予防の観点から、向かい合っでの話し合いや密となる鑑賞などの題材については実施の方法を工夫する。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、共有の教具や机椅子などの扱いに配慮している。

＜年間指導計画＞

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1 学期	・体づくり運動 ・陸上競技 ・球技 ネット型 ・水泳	・体ほぐしの運動、体の動きを高める運動 ・短距離走・リレー ・バレーボール ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎ	○ ◎ ◎ ◎	◎ ○ ◎ ○	◎ ◎ ◎ ◎
2 学期	・水泳 ・陸上競技 ・器械運動 ・球技 ベースボール型 ・球技 ゴール型	・クロール、平泳ぎ、背泳ぎ ・走り幅跳びまたは走り高跳び ・マット運動もしくは跳び箱運動 ・ソフトボール ・バスケットボールまたはハンドボール	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎
3 学期	・ダンス ・武道 ・球技 ゴール型	・創作ダンス、現代的なリズムのダンス ・相撲 ・サッカーまたはバスケットボール	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎
通 年	・陸上競技 ・体育理論 ・保健	・持久走、長距離走 ・運動やスポーツの効果と安全 ・健康と環境、けがの防止	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎

＜評価の観点と割合＞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
40％程度	30％程度	30％程度

＜令和4年度に関する特記事項＞

- ・学習する単元によって、観点ごとの評価の割合が異なる。
- ・状況によって、単元を変更する可能性がある。

<年間指導計画>

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1学期	・B 生物育成に関する技術 生物育成の技術の原理・法則と仕組み 生物育成の技術による問題解決 社会の発展と生物育成の技術	・生物育成の技術とは ・作物の育成環境を調節する技術 ・作物の成長を管理する技術 ・生物育成の技術の工夫の読み取り ・問題の発見，課題の設定 ・生物の育成計画 ・成長に合わせた適切な育成 ・問題解決の評価，改善・修正	○	○	○
			◎		○
			◎		○
			○	○	○
			◎	◎	○
			○	○	○
			◎	◎	◎
			○	◎	○
2学期	・C エネルギー変換に関する技術 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	・エネルギー変換の技術とは ・発電の仕組みと特徴 ・電気を供給する仕組み ・電気回路について考えよう ・電気機器を安全に使用するための技術 ・運動エネルギーへの変換と利用 ・回転運動を伝える仕組み ・機械が動く仕組み ・機械の共通部品と保守点検の大切さ ・エネルギー変換の技術の工夫の読み取り	○	○	○
			◎		◎
			◎		○
			○	◎	○
			◎	◎	○
			○	○	○
			○		○
			◎		◎
			○	○	◎
			○	◎	○
3学期	・C エネルギー変換に関する技術 エネルギー変換の技術による問題解決 社会の発展とエネルギー変換の技術	・問題の発見，課題の設定 ・電気回路または機構モデルの設計・製作 ・問題解決の評価，改善・修正 ・エネルギー変換の技術の最適化 ・これからのエネルギー変換の技術	○	○	○
			◎	◎	◎
			○	◎	○
			○	○	○
			○	◎	○

<評価の観点と割合>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生物の育成に適する条件と，育成環境を管理する方法についての知識を身に付けている。 ・栽培計画に基づき，適切な資材や用具を用いて，合理的な管理作業ができる。 ・機器の点検すべき箇所を見つけ，保守点検と事故の防止ができる。 ・社会で利用されている機器等における，エネルギーの変換，制御，利用についての知識を身に付けている。	・成長の変化をとらえ，育成する生物に応じて適切に対応を工夫している。 ・製作品の使用目的や使用条件を明確にし，社会的，環境的及び経済的側面などから設計要素を比較・検討した上で，製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み，構造や電気回路などを決定している。	・環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培する方法を検討しようとしている。 ・エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見つけ，社会的，環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに，適切な解決策を示そうとしている。
40%	30%	30%

＜年間指導計画＞

学期	単元名	主な学習活動	評価		
			知	思	態
1学期	C衣生活・住生活と自立 生活を豊かにする物をつくる 2. 布を用いた物の製作 C消費生活・環境 1. 家庭生活と消費 ①消費生活のしくみ ②家庭生活における収入と支出 2. 購入・支払いと生活情報 ①いろいろな購入方法 ②購入前に知っておくこと ③いろいろな支払い方法 ④情報を活用した上手な購入	・布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ・製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。 ・物資とサービスの特徴がわかる。 ・消費生活のしくみがわかる。 ・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。 ・店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ・売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ・生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	◎ ○ ○
2学期	3. 消費者被害と消費者の自立 ①なくならない消費者被害 ②消費者を支えるもの ③消費者の権利と責任 4. 持続可能な社会 ①消費行動が社会に与える影響 ②消費行動が環境に与える影響 ③世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ B食生活 1. 食事の役割と食習慣 ①食事の役割 ②健康によい食習慣 2. 中学生に必要な栄養を満たす食事 ①中学生の発達と必要な栄養	・消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。 ・消費者を支えるしくみについて理解できる。 ・消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。 ・購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。 ・環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。 ・持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。 ・食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもつ。 ・健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。 ・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。	◎ ○ ◎	◎ ◎ ◎	○ ◎ ○
3学期	②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群 ③栄養バランスを目で見て判断 3. さまざまな食品とのその選択 ①生鮮食品の選択と保存 ②加工食品の選択 ③食品の安全と情報 4. 日常食の調理 ①調理の計画 ②おいしさと調理 ③ますます好きになる肉の調理 ④こんなにおいしい魚の調理 ⑤好きになる野菜の調理 5. 地域の食文化	食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。 ・中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。 ・1回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。 ・生鮮食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。 ・加工食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて加工食品を選択できる。 ・加工食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて加工食品を選択できる。 ・食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。 ・調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ・おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。 ・肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理を理解する。 ・魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理を理解する。 ・野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理を理解する。 ・地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ○ ○	○ ○ ◎ ◎

＜評価の観点と割合＞

知識・技能	思考・判断	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と稼働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
40％程度	30％程度	30％程度

＜令和4年度に関する特記事項＞

- ・ソーシャルディスタンスの観点から、被服実習などの密となる単元については、実施の方法を工夫する。